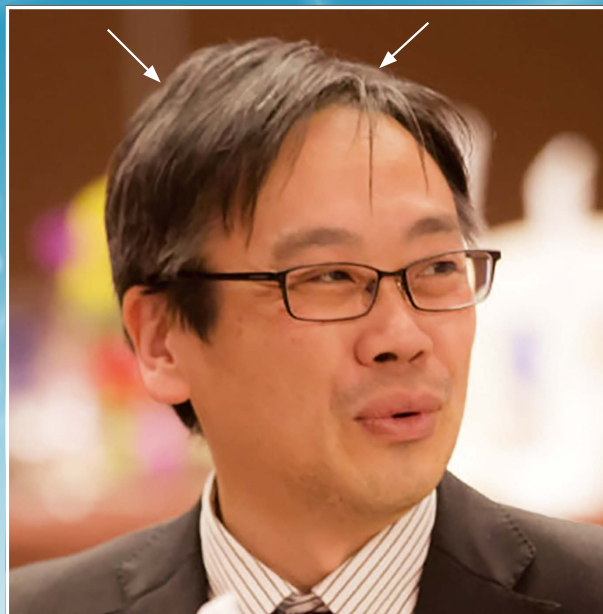




皮膚科医が円形脱毛症になったら

鶴田 大輔

大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学講座教授

私は冬に弱い。昨年冬に、ネフローゼ症候群になり長期離脱した。現在はよき主治医と出会い、完全復帰している。

これまで冬に私が罹患したのは、蕁麻疹、自家感受性皮膚炎、帯状疱疹などであるが、3年前の冬に発症した多発性円形脱毛症について書く。

そのころ、一人娘の受験に伴うストレスを感じていた。同時に医局運営でも相当悩んでいた。娘の受験1週間前のある日、入浴中に湯船に髪の毛が浮かんでいることに気づいた。「娘か妻の抜け毛かな?」と思った。洗髪したが問題は感じなかった。翌日入浴時、やはり髪の毛が浮かんでいた。加えて洗髪の際に毛を触る度に両手に毛がまとわりついてきた! 鏡で見える範囲に異変はなかったが、両側頭部につっぱったような異常感覚を覚えた。その翌日に枕に多数の毛を発見。ついに鏡にて、異常感覚の部位に一致して粗毛部を発見。ただちに准教授にみてもらい、確定診断となった。皮膚科医で脱毛の患者を複数みていた私が円形脱毛であることを患者に気づかれるわけにいかず、経過も急激であったことから、ステロイド局注とエキシマの同時施行を行った。ステロイド局注は大して痛みを覚えなかった。施術者が上手なのか、打つべきところ

に打っていないのか、私が鈍感なのかはわからない。翌日にステロイドパルス(合計3回)を開始した。その後、発症約2カ月で完治した。つっぱったような、思わずヘッドスパでもみほぐしたい感覚は1カ月程度で完治した。不思議なことに、発症2カ月目に、座瘡が頭部に多発した。これは発症4カ月まで続き、自然軽快した。准教授から教えていただいたスーパーミリオンヘア®により、ほぼ完全に隠せたため患者からは一度も指摘されなかった。QOLという観点からこれは非常によい。写真はスーパーミリオンヘア®使用時の学会でのワンショットである。矢印のようにやや陥凹しているが、十分なできであった。患部にふりかけ、残っている髪の毛で上から蓋をするのである。

今回の経験から、1)異常感覚の正体はなにか? 2)一過性の座瘡はなぜ生じたか? 3)これほど治療期間が短いのは超早期に強力な治療を行えたからか? 4)ストレスは円形脱毛のトリガーといえるか? 5)なぜ私は冬に免疫異常をおこすか? 6)早期改善にスーパーミリオンヘアは寄与したか?

これらは、円形脱毛発症機序解明のヒントかもしれない。